

*** 愛知県知事に職員2名が表彰されました ***

令和5年12月22日(金)に㊦栄養指導業務功労者・㊧社会福祉事業功労者として、当事業団の職員2名が愛知県知事より表彰されました。

両名とも豊田市福祉事業団設立当初期から、障がいがある方やそのご家族への支援に携わり、当事業団を利用される方に寄り添いながら尽力してきました。また、活動は事業団内にとどまらず、支援者の育成や多職種との連携など地域の福祉にも貢献し、その功績が認められ、この度受賞となりました。



【本人よりコメント】

㊦栄養指導業務功労者

なのはな施設長 管理栄養士 (写真右)

事業団での食事支援は、乳児期から、支援員を中心に多くの職員が携わっていきます。「哺乳瓶からミルクを飲めない」「健康状態や食べる機能に合わせた離乳食はどのように作ればいいのか」様々な不安を抱えたご家族の方と一緒に、お子さんの食事支援を多職種で行ってきました。子どもたちやご家族の方に出会い、食事の支援を通して、生後数か月から成人を迎えるまでの発達を学ぶことができました。

今回の賞は皆さま方からいただいた大切な宝物です。「食は心のメッセージ」という言葉を基本理念とし、これからも食事支援を続けてまいります。



④社会福祉事業功労者

暖施設長 作業療法士（写真左）

平成4年「豊田市立ひまわり学園という通園施設に療育部ができたので、囑託の作業療法士を探している」とお話をいただいたのがきっかけで、当時は非常勤で、平成7年からは事業団正規職員として勤務し、現在に至るまで、本当にたくさんの学びがありました。

怠け者の私が、このように光栄な賞をいただけたのは、利用者の方やそのご家族から、さまざまな宿題を出し続けてもらったからです。三十余年、そのときどきに、同じ宿題を抱える仲間たちと、ときには「わからない」「進まない」とぼやきながら、それらの宿題に向き合ってきました。解決しなくても諦めず、私共に宿題を出してくれた皆様、一緒に宿題に取り組んでくださった皆様、ありがとうございました。皆様とともに戴いた県知事表彰です。この場を借りてお礼申し上げます。